

2021年11月4日

プルデンシャル・ファイナンシャル・インク

抄訳

プルデンシャル・ファイナンシャルが2050年までのネットゼロエミッション達成へ向け コミットメントを発表

～2040年までのカーボンニュートラル実現や、
一般炭への新規直接投資を制限するなど気候変動対策を拡大～

米国に本拠地を置く世界最大級の金融サービス機関であるプルデンシャル・ファイナンシャル・インク（以下、プルデンシャル）は2021年11月1日、2050年までに国内外の主要なホームオフィス業務においてネットゼロエミッションを達成するというコミットメントを発表しました。また、気候変動の影響を緩和するための同社の長年の取り組みを加速するため、2040年までにカーボンニュートラルを実現するという中間目標も設定しています。これらはパリ協定で規定されている地球温暖化を1.5度以下に抑えるという最新の気候科学に沿ったものです。

プルデンシャルの会長兼最高経営責任者であるチャールズ・ラウリーは次のように述べています。「世界的な保険会社および投資運用会社として、当社は気候変動の大きさと緊急性を理解しており、自らの影響を最小限に抑える責任があると考えています。今回のネットゼロ・コミットメントは、当社のお客さま、社員、投資家、地域社会にとって、より持続可能な未来に向けた重要な一歩です」。

同日発表された取り組みは、気候変動やその他の環境リスクを軽減することを目的とした業務上および投資上の目標を含む、プルデンシャルの[2019年グローバル環境コミットメント](#)に基づいています。

プルデンシャルは、不動産フットプリントの統合や、所有物件のエネルギー効率の高い設備改善への投資、可能な限りの再生可能エネルギーの購入により、ホームオフィスの業務上の排出量をグローバルで削減します（スコープ1およびスコープ2）。その後、炭素除去戦略を活用して残りのカーボンフットプリントを排除します。同社のホームオフィスには、米国、日本、ブラジルに所有およびリースしているオフィススペース、データセンター、ガレージがあります。

次に、4,600億ドルの一般勘定ポートフォリオに含まれる同社の所有資産に関連するものを含む、スコープ3の排出量を評価する予定です(※)。初期の取り組みとして、収益の25%以上を一般炭から得ている企業への新規直接投資の制限を開始します。この制限は、プルデンシャルの[責任投資方針](#)に含まれています。

スコープ3の投資活動に関する更なるコミットメントは、2022年に最終決定された時点で公表されます。

プルデンシャルの副会長であり、気候変動に関する運営協議会を統括するロブ・ファルゾン

ように述べています。「プルデンシャルは、約束を果たすことに献身する会社です。気候変動リスクへの対応に向けて意味のある前進をするために、これらの目標に責任を持って取り組んでいきます。これらの炭素削減目標は、ステークホルダーと効果的に関わり当社の環境活動の透明性を提供するという長年の取り組みに支えられています」。

その他の最近の環境活動としては、[初のグリーンボンド](#)を発行するなど、持続可能な金融取引を行っています。2021年5月、プルデンシャルのグローバルな投資運用部門であるPGIMの不動産投資事業であるPGIMリアルエステートは、[2050年までに管理物件のグローバルポートフォリオからの運用上の二酸化炭素排出量をネットゼロにすることを約束しました](#)。

プルデンシャルは、これらの目標に関する進捗状況と最新情報を年次[ESGレポート](#)で報告します。プルデンシャルのニュースや、サステナビリティに関する情報は、[prudentialesg.com](https://www.prudentialesg.com)をご覧ください。

※ジェネラル・アカウントのポートフォリオ運用資産は2021年6月30日時点のものです。

将来予想に関する記述

本リリースに含まれる記述のうち、プルデンシャルの環境・社会・ガバナンスに関する取り組みや目標に関するものは、1995年米国私募証券訴訟改革法の意味における将来予想に関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、将来の展開とそのプルデンシャル・ファイナンシャルおよびその子会社への潜在的な影響に関する経営陣の現在の期待と見解に基づいています。プルデンシャル・ファイナンシャルの実際の業績は、このような将来予想に関する記述に反映された期待や見積りとは、場合によっては大きく異なる可能性があります。プルデンシャル・ファイナンシャルのForm 10-K年次報告書およびForm 10-Q四半期報告書に記載されている「リスク要因」および「将来の見通しに関する記述」のセクションには、実際の結果がこのような将来の見通しに関する記述に反映されている期待値や推定値と、場合によっては大きく異なる原因となる重要な要因が記載されています。プルデンシャル・ファイナンシャルは、本リリースに含まれる特定の将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

プルデンシャル・ファイナンシャルについて

プルデンシャル・ファイナンシャル・インク ([NYSE: PRU](#)) は、2021年6月30日時点で1.5兆ドル以上の総預かり運用資産を有し、米国、アジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカを中心に事業を展開している、ファイナンシャル・サービスとグローバルなアクティブ資産運用のリーディングカンパニーです。プルデンシャルの多様で才能のある社員は、より多くの人に経済上の課題解決の機会を創出することで、人々の人生をよりよいものにするお手伝いをしています。米国では、プルデンシャルの象徴的な「ロック」は、1世紀以上にわたり、強さ、安定性、専門性、革新性を表しています。詳細については、news.prudential.comをご覧ください。